



下商物語

その四十四

下関市肉高校・大学、 県内商業高校の創立について

本校教諭 林 俊行

本校は、今年秋で創立百三十四周年を迎えますが、今回は近隣の高校・大学の創立について紹介してみたいと思います。少子化等時代の流れによって学校改革(統廃合等)が取り組まれている中で、今一度過去のことを知ることも大切なことかも知れません。なお、資料は各校が発行される学校要覧等から活用させていただきました。各校で定めた創立の古い順番(平成三十年現在)にて紹介しております。表記方法に現在の校名(その年)、創立周年、創定期、創立時の校名、○下関市内学校、◇県内商業高校、下関市内高校編

- 校
- (市立) 下関商業高校(昭和十三年) 創立百三十四周年(一八八四年・明治十七年)赤間開商業講習所
- 県立 豊浦高校(昭和二十九年) 創立百十九周年(一八九九年・明治三十二年)県立豊浦中学校(二百二十六周年(一九七二年・寛政四年)藩校「敬業館」※平成十五年男女共学化
- 学校法人 早瀬高校(昭和二十六年) 創立百十七周年(一九〇一年・明治三十四年)下関阿部教縫女学校
- 県立 下関南高校(昭和二十九年) 創立百十二周年(一九〇五年・明治三十八年)市立下関高等女学校 ※平成十五年男女共学化
- 県立 田部高校(昭和二十七年) 創立百一十周年(一九〇七年・明治四十年)豊東村立女子実業補習学校

- 県立 長府高校(昭和二十九年) 創立百八周年(一九一〇年・明治四十三年)豊浦郡立豊浦女学校 ※平成十五年男女共学化
- 県立 下関西高校(昭和二十五年) 創立九十九周年(一九〇〇年・大正九年)市立下関中学校
- 学校法人 下関短期大学付属高校(平成十三年) 創立九十二年(一九二六年・大正十五年)河野高等技芸院
- 県立 西市高校(昭和二十七年) 創立七十三周年(一九四五一年・昭和二十年)県立西市農林学校 ※山口農業高校の分校へ
- 県立 豊北高校(昭和三十一年) 創立七十三周年(一九四五一年・昭和十年)県立瀧部女子農林学校 ※響高校と統合して、下関北高校へ(平成三十年度)
- 学校法人 下関国際高校(平成五年) 創立五十四周年(一九六四年・昭和三十九年)下関電子工業高校
- 県立 響高校(昭和五十五年) 創立三十八周年(一九一八年・昭和十五年)
- ※七十周年(一九四八年・昭和二十三年)県立下関女子高校黒井分校 ※豊北高校と統合へ
- 県立 下関中等教育学校(平成十六年) 創立十五周年(二〇〇七年・昭和二年)宇部市立宇部商

- 業実践学校
- 県立 防府商工高校(平成二十四年) 創立九十周年(一九二八年・昭和四年)防府商業学校
- 県立 岩国商業高校(昭和二十三年) 創立八十九周年(一九二九年・大正七年)岩国実業補習学校
- 公立大学法人 下関市立大学 創立六十二周年(一九五六年・昭和三年)下関商業短期大学
- 独立行政法人 水産大学校 創立五十五周年(一九六三年・昭和十八年)
- 学校法人 梅光学院大学 創立五十四周年(一九六四年・昭和十九年)梅光女学院短期大学
- 学校法人 東亜大学 創立四十四周年(一九七四年・昭和四十九年)
- ところで二〇一七年の資料(二〇〇七年)によると、全国の高校で都道府県立は三三五(三七二)校、市区立は一九三(二二八)校、町村立は一九(二五)校、私立は一三二校で年々減少傾向にあります。その中でも、単独商業高校は、一七二校(山口県は下関商業・宇部商業・岩国商業高校の三校)でひと昔前に比べて減少傾向にあります。

- 公立 宇部商業高校(昭和二十八年) 創立九十二年(一九二七年・昭和二年)宇部市立宇部商
- 公立 徳山商工高校(平成十八年) 創立九十九周年(一九一九年・大正八年)徳山町立徳山実業補習学校
- 県立 柳井商工高校(平成二十年) 創立九十八周年(一九二〇年・大正九年)柳井町立柳井商業学校
- 県立 宇部商業高校(昭和二十八年) 創立九十二年(一九二七年・昭和二年)宇部市立宇部商